

合同報告会 要旨

開催日時	11月 27日(火) 19時 ~ 21時		
市町村名	白馬村	グループ名	1班

要旨

地域高規格道路松本・糸魚川連絡道路について

意見交換会報告 第1グループ

第一日目 9月27日(木)午後7時45分～8時45分迄

出席者 16名

道路を作る目的と必要についてどう考えるかという意見から

1. 白馬の産業で最大の観光を見る時、高速のインター迄遠過ぎ、時間がかかる交通網の整備は、観光の振興に与える影響が大きい。産業構造が変わった中で週末に集中してしまい、入り込みと帰りに渋滞が発生し移動に時間が掛かる。
2. オリンピック開催で道路の充実により、大型車、県外車に依る産業道路化が進みその結果国道148号線を中心にして、交通安全面や騒音、排気ガス等により生活環境が脅かされて来た、新たな土地に専用の道路を望む。
3. 交通渋滞中に身内が倒れ大町の医療機関へ行くのに大変だった。人命救助や医療、災害を考えれば、もう1本道がほしい。
4. 白馬の経済圏は大町、松本、中京方面が多く、松本迄暗闇が掛かり過ぎる。
5. 築場の信号から木崎の信号迄は国道1本のみで、交通渋滞の最大の原因でありその影響で白馬村の道路が渋滞する、美麻周りの道路も大幅に改良されたが、まだまだ対応しきれなく別の道が欲しい。
6. 道路特定財源で作ると言うが、自動車税を始めとして、車は多額の負担をしているので、出来たら作って戴きたい。
7. 行政、議会、経済界が建設促進を引っ張って来たが、多様化した社会の中でそれぞれの意見を聞くことは良い事だ、今後の道路問題についての意見を出そう。
8. 56豪雪を体験した。今後豪雪も有るだろうが、あの時の教訓を忘れずに生かして戴きたい。底辺迄下げて討論するべきでは。
9. 工法的に難しい面が多い。
10. ルートを決める際、東山の場合十分な調査を。
11. コストの問題等について論議したが、特に反対意見は無かった。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 27日(火) 19時 ~ 21時		
市町村名	白馬村	グループ名	1班
要旨			
第2日目 10月15日(月)午後7時 - 9時迄		出席者 7名	
<p>前回の意見交換の内容の確認 要旨</p> <p>21世紀は環境の時代と言われているが、産業道路化し交通安全、騒音、排気ガス等による生活環境の悪化、冬期の休日の交通渋滞による安全面、医療、災害等発生した場合、高規格道路が望ましいのではないかが概ねの意見だった。</p> <p>1・前回からの質問、請求した資料の説明 内容・デメリットを詳しく知りたい。補足説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30 - 50億円(KM)の明細。資料。 ・現道拡幅で対応出来ないか。説明。 ・財源について。 ・R148号線の交通量について。 ・冬期の交通。 ・高規格とは。 ・調査期間。 ・冬期の交通。 ・これからの改良計画について。 ・概算金額は。 ・トンネルの電気料。 ・環境への負荷を減らせるか。 ・出入口について。その他。それぞれに説明があった。 <p>2・他の質問としては。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財源確保について本当はどうなっているか、絵に描いた餅にならないか。 ・高齢化が進む中で子供に残す為に病院とかは出来ないか。 ・国道と高規格道路の除雪費はどうなるのか。 <p>3、意見として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・148号線では、道路状況は昔に比べて良くなった。外沢トンネル、雨中は怖い。白馬村では白馬町から飯森が混雑している。 ・国道の近くはオーバーレイをしてもすぐ轍が出来(道路構造の問題)で粉塵公害、家は挨だらけで、安心して寝て居られない。 ・渋滞時には美麻回りを勧める美麻トンネル効果と大町迄の道路改良が進みバイパス的な面が出てきた。 ・迂回路の整備が出来ない。 ・築場以南を複車線化するか新たに道路の建設が出来ないか。 ・高瀬川右岸道路は朝混雑しているし渋滞もする、橋との交差を立体化して信号機を減らせないか。 ・運転する時は人家の無い所が良い、普段見通しの良い所を通るようにしている。人家の無い所に道を作って欲しい、危険性を低くしたい。 ・高架は音が良く通る。 ・財源も大事だが、本当に必要なのかを考えるべきで、安心して通れる道が欲しい。 ・信号の間、取締りの強化でスピード規制が出来ないか、夜の148号線を横断するのが怖い。信号の間隔は交差点の実情に合わないのではソフト的対策の方法は無いのか。 ・フォッサマグナにトンネルは現実的ではないのでは。 ・高齢化が進み、ゆっくりする人が多くなって来ている。今までの成長はピークを超えた。金もかかる、途中で止めた所もある。道が必要ならばどこに作るのか、場所があるのか、他に滞在して貰う魅力が白馬村になればならない。JRの充実も望ましい(希望)。 			

合同報告会 要旨

開催日時 11月 27日(火)
19時 ~ 21時

市町村名 白馬村 グループ名 2班

要旨

白馬村第2回意見交換会2班報告書

開催日時 2001年9月27日(木)19:00~21:00

参加人数 14名(内女性1名)

意見要旨

- ・ 融雪剤の使用など環境に対する影響が心配。
- ・ ルート案を地元で選択した上で、環境の問題も話し合いたい。
- ・ 問題点よりもメリットの方が大きい、観光の振興や市町村合併に与える恩恵のことを考えると建設に賛成である。
- ・ 冬季の渋滞解消のために北部からの建設を望む。
- ・ 災害や事故の時を考えると複数の道路が必要である。
- ・ 白馬のこれからの発展は道路が鍵をにぎっている。
- ・ 夜間のトラック通過により騒音・振動により健康被害が広がっている。産業道路と生活道路の分離を早急に行ってほしい。・小・中学生の登下校時の安全を考えると建設は必要。
- ・ 平成12年度以降建設に向けての調査が全くされていないのはなぜか。
- ・ 白馬村の意見は統一出来ると思うが、他の市町村民に対して意見を発する方策はあるのか。地域間の意見調整はどうなるのか。
- ・ 反対派が多い市町村は通らずに建設してはどうか。
- ・ 北には道路が少ないから、北から先と言うものではない。早期に1本のつながった道路建設を進めて欲しい。
- ・ 今まで、県は1本のルート案しか発表せず、他のルート案は知らなかった。地元住民が考えれば、もっと良い道もあるのでは。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 27日(火) 19時 ~ 21時		
市町村名	白馬村	グループ名	2班

要旨

白馬村第2回意見交換会 2班報告書

開催日時 2001年10月15日(月)19:00~21:00

参加人数 8名(内女性0名)

意見要旨

- ・ 今回の意見交換会の参加者は全住民の2%にも満たない。その意見によって、知事は方向性を決定してしまうのか。
- ・ 声高に意見を述べる反対論者の声ばかりが目立っている。
- ・ 小谷村民へのアンケート(1200人)では、66.2%の方が賛成、反対は17.2%であった。
- ・ 今回の議論で出された統一意見が知事にどのように届くか、その方法について明らかにしてほしい。
- ・ 県にルート案作成を任せるのではなく、地域から提案することも大事だと思う。
- ・ 大北地域の有志の会で作ったルート案、意見も合同発表会で知らせていただきたい。
- ・ 過去に高速道路が大町まできていれば、今回の議論は必要無かった。同じ過ちを繰り返さないためにも、高速道路へつなぐ道の建設を進めてほしい。
- ・ 調査区間を糸魚川・大町間にも認めてもらうために国に陳情出来ないのか。
- ・ 知事が穂高の住民に白紙撤回の約束をしたとの話を聞いて心配である。
- ・ 今回の意見交換会に参加出来なかった多くの住民の意見も汲みあげの方法をとっていただきたい。他の市町村の参加人数の差を考えると非常に心配である。
- ・ 海外からの観光客を迎えるために、富山空港までのアクセスが今後重要となる。
- ・ 医療の問題でも、松本まで30分程度で行ける道が必要。
- ・ 高速道路網の整備により、インターチェンジ周辺への経済的効果が実証されている。とり残された地域は大北と木曽だが、知事は、木曽川右岸道路建設促進を約束しているのに、地域バランスの面でも高規格道路建設をすすめてほしい。
- ・ 大系線が将来的に廃止される心配がある。10年20年後を考えると高規格道路は生命線になってくる。
- ・ この班の統一意見として「自然や環境に配慮しながらも、一日も早く高規格道路の建設を進めてほしい。」と言うこと。
- ・ 今回までの議論で意見はほぼ出つくした。3回目の意見交換会は必要ない。

合同報告会 要旨

開催日時 11月 27日(火)
19時 ~ 21時

市町村名 白馬村 グループ名 3班

要旨

松本系魚川連絡道路意見集約白馬村第三グループ

松本系魚川連絡道路の建設を推進して欲しいという意見には、自然環境と騒音被害に充分配慮して欲しいという条件が必ず付いています。また建設に反対する意見は、自然環境を破壊したり、周辺の騒音被害が発生するからとの理由によるものです、つまり、条件次第という事で、現在、当道路計画には、どのような形(高架なのか、平面なのか、トンネルなのか)で、白馬村のどのあたりを通るのか、全く示されていない段階で、賛成か反対かの意見は意味がありません。そこで、どのような理由から、この道路計画を住民が望んでいるのかの意見集約を先ず申しあげます。

- 理由1. 国道148線周辺の騒音と交通事故の危険性を取り除くため。
- 理由2. 災害時に一路線では脱出あるいは救出困難な場合があるため。
- 理由3. 白馬村へのアクセスが良くなり、観光関連事業など各種事業の活性化につながる。

理由1については、誰も反対する人はいませんでした。ただ、ここ数年、上信越の有料道路を避け148号線を通る大型トラックが増え騒音がひどくなっている状況で、いつ実現するか分からない地域高規格道路の建設を待ってはられないというのも多数の意見でした。理由2についても重要であるという認識は全員もっていますが、ヘリポートの建設の方が、早急実現可能であり、ヘリコプターによる救出体制の方が、費用対効果が優れているのではないかと、この意見もありました。両方あるに越したことはありませんが、いつ起こるかわからない災害を想定するならば、ヘリによる救出体制こそ早急に検討して欲しいと考えます。理由3については、活性化を期待する意見が多かったですが、宿泊業者にとっては、目帰り客が多くなり、宿泊者が減る可能性も大であるとの意見もありました。

さて、最初に申し上げたように、白馬村については、具体的には何も分からない現状で、意見交換も空論になりがちなか中、何故大町以南だけ調査区間になったかの理由を大町建設事務所長に質問しましたが、出席者全員納得できる答えではありませんでした。松本系魚川を貫通してこそ意味のある道路であるのに、技術的にも費用の面でも、ずっと困難な大町以北の調査を後回しにしての計画は納得できません。

大町以南の実行計画を決定する前に大町以北を調査し、ルート案と費用見積りを明示した上で、初めて白馬村住民の意見を聴取すべきです。白馬村住民の総論賛成の意見を大町以南の建設推進の理由にしないでいただきたい。

第三グループの出席者数は、一回目が12人、二回目が7人、3回目はたったの2人でした。関心がないためとは思えません。今の国と県の財政状況下、費用見積りもしていない計画がいったい何時実現するのかおぼつかない中で、ルート案も示されない計画に対する意見交換に貴重な時間を費やしたくなかったからでしょう。私自身はそうです。実現不確定な計画を議論する前に、現に困っている148号線の騒音を取り除く計画立案を優先していただきたい。蛇足ですが、私自身は道路騒音とは無縁の所に住んでいますし、大部分の人も騒音には無縁だと思いますが、道路に関しては多数の意見より、周辺の少数意見を尊重すべきと考える者です。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 27日(火) 19時 ~ 21時		
市町村名	白馬村	グループ名	4班

要旨

全体発表会グループ4

4グループは、14名で3回にわたり、意見交換をしてきました。主に、高規格道路を賛成する意見と、高規格道路にこだわらず早期の道路整備を望む意見、反対意見などが取り交わされました。

賛成意見としては、

- ・ 救急で病院に運ばれるのに、渋滞によって亡くなった方がいる、また国道近くの住人は日々騒音に悩まされている為、大町から北はすぐに調査区間に格上げして欲しい。
- ・ この道路を作って欲しいというのは、昭和40年代からの悲願である。小谷の災害の時も幹線道路がストップしてしまった。国の方針が高速道路まで30分であるのに、白馬からは高速道路のICまで1時間はかかってしまう。
- ・ 国道端に住んでいるが、道路を横切るのも大変である。生活道路と産業道路を分けるという意味でもつくって欲しい。
- ・ 現状は交通の便が悪く、週末になれば渋滞は当たり前であり、観光で来るお客様を利便性で迎えるという面からも実現を要望します。
- ・ 大北地区は高速道路網にのれなかった事もあり、経済的に遅れている。高速道路から近くなければ企業の誘致もできない。将来的に地元での働く場の確保もできなくなってしまう。このような状況では子供達はこの地域から出ていってしまう。
- ・ 高規格道路は是非つくって欲しいが、松本からこの道路が必要だとは思わない。豊科(長野道)から糸魚川が良い。この道は、問題が深刻である白馬、小谷から取り組んで欲しい。松本～糸魚川を基本にして考えると難しくなるのではないか。

高規格道路にこだわらず道路整備をという意見では

- ・ 道路をつくって欲しいとは思っている。しかし必要なのは必ずしも高規格道路とは思わない。高規格道路という位置づけにすれば、出来るのに時間がかかってしまうのではないか。すぐに出来ること(早期着工)が優先事項であるとおもう。

高規格道路はいらない、という意見では

- ・ 環境破壊や地域の分断という問題があるので必要ない。
- ・ 騒音の問題でお客様が減った。
- ・ 観光と自然が白馬の売りであるが、オリンピックの後観光がダメになっている。高速道路がないからといって村が発展しないとは限らない。
- ・ 道が良くなれば、白馬村は単なる通過点になってしまう。

合同報告会 要旨

開催日時 11月 27日(火)
19時 ~ 21時

市町村名 白馬村 グループ名 4班

要旨

どんな道路にして欲しいか・道路をつくったときの問題点など

- ・ 自然環境には十分配慮した道路にして欲しい。白馬村は自然観光の村であるので、環境の問題は非常に重要である。
- ・ 現国道が格下げになる事により、市町村道となりその負担は一体どうなるのか。私達の負担はどのような形で出てくるのか。財政的にみてなるべくお金を使わないような道路にして欲しい。
- ・ 県民の負担が増えることが予想される。
- ・ 将来の白馬村を見据えた道路にしてほしい。

その他

- ・ この意見がどこまで反映されるのか疑問である。
- ・ 検討のありかたとして、大町以南は、高速道路も近く道路整備も整っているのですが、さほど問題はないと思うが、大北地域においての道路整備の問題は非常に大きな事項である。大町より北は道路も少なく毎年観光シーズンには渋滞に悩まされており迂回路がない所もあるため緊急時の問題も大きく、生活をしていく上でも不安のある道路環境である。あまり必要としない地域よりも、必要としているこの地域から検討すべきである。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	27日(火) ~ 21時	グループ名	5班
市町村名	白馬村			

要旨

地域高規格道路松本系魚川連絡道路意見交換会

第5グループ話し合い内容

1. 期日 第1回9月27日、第2回10月16日、第3回11月6日
2. 参加者 第1回/13名、2回/9名、3回/5名
3. オブザーバー
4. 記録者
5. 述べられた意見

【高規格道いらないうる考え】

- ・ 交通が便利になって客がくるとはいえない。自然環境が悪くなるし、通過型になり滞在型の客は増えない。
- ・ 莫大なお金をかけて作った道路が将来本当に必要になるのか、又村はそれによって良くなるかわからない。
- ・ スキー客の急激な減少など変化が激しく、何を子孫に残すべきかとまどう。
- ・ 道路によって景観が悪くなるし、排気により空気も汚染される。
- ・ お金がかかり過ぎる。国道のバイパスを作る方式でよいではないか。これからは老人福祉が大変になるので、そちらにお金をまわすべきだ。
- ・ 活動が予想される活断層近辺に作ることは危険であるし、地震災害時に分断される可能性がある。
- ・ 現在の白馬が良くて住んでいる。

【高規格道必要と考え】

- ・ 大町方面、長野方面ともに1本道のため渋滞がしばしば起こり、客は懲りるし、病気、怪我、出産など緊急時の対応ができない。
- ・ 大型トラック等の交通量が増え、騒音、振動、排気ガス、危険など住民を脅かしている。高規格道はこれらをかなり解決できる。排気ガスも止まらない方が軽減できる。
- ・ 白馬村は三次産業に偏り、しかも季節変動が大きく、安定した勤務先は役場、農協、郵便局と某企業一社という状況で何かあればリスクは大きい。一次、二次産業も育て健全な産業構造にしていくためには高速交通網の整備は不可欠である。
- ・ 利便性を追求するのは人間の常、便利で早く行けるところに人は行く。インターから15分以内、大都市へ20分ないし30分以内で行き来できることは必要なことだ。
- ・ 大系線は存続の危機をはらんでいる。複数の交通手段は早期に整えるべきである。

【三回の意見交換で一致した意見】

- ・ 白馬、小谷には複数の道路が必要である。
- ・ 産業用、通り抜け用の道路により村の発展、住民の安全、健康が期待できる。
- ・ 景観、自然環境に配慮した素敵な道路にしてほしい。
- ・ 村へスムーズに入ってこられるようなインターの位置、数、構造にしてほしい。
- ・ 予想される地震にも耐えられる道路にしてもらいたい。
- ・ 白馬の良さを守り、育てて自然豊かで安心して暮らせる村にしたい。
- ・ 村の魅力を増やし、文化を高めるべきだ。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	27日(火) ~	21時
市町村名	白馬村	グループ名	6班

要旨

地域高規格道路検討会

白馬村第6グループ 14名

座長

第1回

平成13年9月27日白馬村役場2Fに参集し、班構成が出来、検討会が14名により行われた。会員の入達より意見を出していただき、個々の考え方を聞いた。全体としては、高規格道路建設については賛成であるという意見であったが、さまざまな問題点があるので次回は今回の意見を参考にして、自分の意見を集約して意見発表をしてほしい。

1. 148号線が改良され、交通量が増え、騒音で道路端の人達は夜も眠れない。エリアの生活道路と通過する産業道路と分けて欲しい。高規格道路は生活者のいない地域を通して欲しい。
2. インターから白馬への距離が遠すぎるので高規格道路は白馬の観光の為にも絶対必要。
3. 富山空港が白馬に一番近い空港だ。富山空港は韓国、中国等アジアとの国際空港化している。糸魚川からの高規格道路が出来れば白馬の観光に多大なメリットがある。
4. なにも松本、糸魚川のルートでなくても良い。長野-白馬-富山か、長野-白馬-糸魚川でも良いではないか。

第2回

平成13年10月16日

前回の問題点をふまえ、高規格道路の内容について建設事務所職員にも参加してもらい説明を受けた。

1. 大町より南は反対意見が強く、必要性を感じない住民が多いときく。それなら必要としている白馬-糸魚川間を先に出来ないか。
2. 作るにしても白馬は環境を売り物にしている観光地なので高規格道路は環境を配慮した位置として欲しい。
3. 将来の村づくりを考えると村民や観光客が安心して通行出来る道路を作って欲しい。
4. 道路が良くなっても白鳥が発展するとは思えない、白馬の魅力作りを村民あげてしなければだめだ。
5. 計画を具体的に作る為に村長、議会が強く知事に要望してもらいたい。

まとめとしては、白馬は今、観光産業が不況の為、すぐにでも計画を実行にうつして欲しい。しかしながら環境を売り物にしている白馬にとって、道路の位置については心配するところである。白馬村内は生活者の為の車と観光の為のシャトルバス、鉄道、公共道路のみの車しか通行させないという方法も必要と考える。これは私の考えであるが、高規格道路を東山にトンネルとし、インターは堀の内と大出とする。トンネル内の排気ガスを集じんし、クリーンにしてから大気に排出する。そうすれば騒音、排気ガス等公害の無い高規格道路となると思う。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	27日(火) ~ 21時	グループ名	7班
市町村名	白馬村			

要旨

松本系魚川連絡道路意見交換会

H13.11.12

白馬村 第7グループ

発表者

第7グループのまとめ

第7グループは 9月27日、10月15日及び11月6日の3回にわたり意見交換会を開催し、次の通り全体意見を集約したので発表いたします。

当グループに於いては当初より、高規格道路建設推進派と慎重派に色分けされた。そこで建設についての賛成反対にこだわらず高規格道路のメリット・デメリットを検討し、デメリットと思われる点についても解決策はあるのではないかと、また、メリットと考えられている事についても何らかの問題点はないかと全員で意見を出し合う会議にしようという事で進めて来ました。特に大町以南のルート設定には3案がありどれになるかは流動的なので ルートにこだわらず白馬の地域として高規格道路の基本的な規模を確認の上、主として高規格道路の機能や社会的役割・地域への影響力について現時点で考えられる事項を検討することとした。

各自発言の主なもの

1. 現在国道148号線は遠距離輸送大型車の暴走により地域生活者の通行の安全が脅かされている。また、騒音や排気ガスにより沿道住民の日常生活が脅かされている。
2. 高規格道路は白馬村の観光を主とした産業振興に是非必要である。
3. 生活道路と広域連絡道路の分離が必要だ。
4. 7・11災害の時を思い出すまでもなく災害に強く災害時の緊急措置に対応できる高規格道路は必要だ。
5. 大町以南のルートの決め方によって早期実現に大きな変化も予想される。白馬村民が早期実現を推進するにあたっては大町以南で地域住民の反対意見の少ないルート選定を支援して行くべきだ。
6. 小谷村は地形的にもルート設定にいくつかの制約がある。よって小谷村の考え方が白馬村内のルート選定にも大きく影響するだろう。早い時期に両村の話し合いが必要である。
7. メリットとして挙げられた事項
 - (1) 生活道路の安全化が図れる
 - ・生活道路と広域的交通路の分離
 - (2) 生活圏道路の騒音公害減少
 - (3) 住民の社会活動がより広域化される
 - ・通勤・通学の範囲拡大
 - (4) 福祉・医療の向上
 - ・福祉や医療施設の利用がより広域にわたり可能となり、より高度なサービスを受ける事ができる。
 - ・信大病院・豊科日赤病院・子供病院等トップクラスの医療機関への時間距離が短縮される。
 - (5) 通過形車両のスムーズな運行により窒素酸化物・二酸化炭素・粒子状物質等環境汚染物質の削減が可能だ。
 - (6) 自然災害にも強い道路であり災害時の緊急措置にも対応できる。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	~	27日(火) 21時	
市町村名	白馬村	グループ名	7班	

要旨

8. デメリット又は更に検討を必要とする問題点

- (1) 自然景観への影響軽減を考え、又早期実現を考慮して4車線道路ではなく当面2車線で検討してはどうか。
- (2) 国家財政逼迫の折、計画の再検討も必要ではないか。
(反論) 国家財政について白馬村民だけで論じても始まらない。それは国政レベルで検討する事だ。
- (3) 大型トラックの通過は白馬には何のプラスにもならないという意見もあるが、この道路建設はこの地域だけの問題ではない。全国的に考えて必要なルートである。
- (4) 自然景観を守る為として道路建設に反対する意見があるが電柱の方がより多く自然景観を破壊している。道路は慎重なルート選定により景観への影響を軽減できるのではないか。
- (5) 穂高町で反対者が多いと聞くが、この道路建設に着手すれば建設関連業界が活性化し、雇用の場も多くなったりして経済的効果は大きい。その他安曇全体の経済発展を考えるべきだ。
- (6) 観光を主とした産業振興に寄与すると言っているが、白馬村をどのような観光地として作って行くのか検討すべきだ。
- (7) 白馬の独自の文化を大切にしておく場合、高規格道路で多数の観光客が入込むあまり、商業主義(俗に言う儲け主義)が先行し白馬村の好きである農村を基盤とした独自の文化を失う様な事があってはならない。高規格道路完成後を見据えた観光白馬の将来像を検討しておく必要あり。
- (8) 高速道開通が観光地に及ぼす悪影響(主として環境破壊)の例として越後湯沢が挙げられる。白馬の将来計画について十分な検討が必要だ。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	27日(火) ~	21時
市町村名	白馬村	グループ名	8班

要旨

8班 合同報告会

14名(男性9名女性5名)

9月27日、10月15日、11月6日の3回地域高規格道路松本系魚川連絡道路意見交換会を行いました。

9月27日は各人自由に自分の意見、考えを出していただきました。

1. 高規格道路とは、どのような道路なのか内容が解らないので理解できない内容を知りたい。
1. 村内の道路がどうあれば良いか、高規格道路は必要か否か、考えたい。
1. 豊科ICより白馬まで1時間遠い、通勤にも不便、又小谷方面は災害の時大変不便を感じた。
1. 大型車の通行が多くなってきた、148号線沿いは騒音がひどくカミナリのような音のする所もある、生活道路と物流道路は別にしてほしい、大型車の通行は夜中が多く、夜9時以降の騒音は特にひどい。
1. 148線白馬以北は道路が1本さらに大系線も電化されていない、住民の生命、財産、身体を守る、人命尊重からも早く高規格道路がほしい。
1. お客様より白馬は遠いと言われる、又豊科ICまで交通停滞で困るとも。
2. 便利さを追求すれば環境破壊はついてまわる、道路は環境効率が悪い、効率を考えなければいけない。

資料請求。

大型車の通行増は、どうして起きたか交通量のデータを提供してほしい。

白馬村内の道路計画はどうなっているのか。

オリンピック道路によって中条、小川、の人はどういう影響を受けているか。

10月15日 2回目

1. 地図に線を落とし具体的にメリット、デメリットを出して考えたらどうか。
1. 10年、20年かけないで2車線道路で良いから早く完成させてほしい。
1. 環境をこわさないために148号線地下二重構造にして地下に高規格道路を通したらどうか。
1. 大町から美麻へ白馬の東山をトンネルで小谷、系魚川へ、除雪もいらぬ。
1. 早期完成を望む、環境を壊さないようにトンネルと平地を併用してほしい。
2. 環境を優先すべき道路でなくて環境整備に金を使うべき。財政赤字の中で通路の混雑は事実であるが、国道の混雑箇所だけ改良工事をするべき。国家が財政破綻すればなにもできなくなる。
2. 便利には裏返しがある、夢を現実に引き下ろして検討する方が良い。
- *. 3回目の交換会はどのような道路整備、高規格道路を作るべきか、夢の高規格道路の案を全員が考えてくるようにと言う打ち合わせで解散

資料請求。環境アセスメント。交通量について。

合同報告会 要旨

開催日時	11月 19時	27日(火) ~	21時
市町村名	白馬村	グループ名	8班

要旨

11月6日。3回目

今回欠席される方々に電話で意見を聴く、6名、申し上げたとおり早く高規格道路を実現、完成させてほしいとのことである。

- 1。高規格道路は白馬村内は平地を通らず東山をトンネルを併用して通せば環境破壊の解消になるのではないか。
- 1。白馬の場合は東山の中腹を通して景色を眺めながら通行してほしい。
- 1。白馬はトンネルと東山の中腹を併用して高規格道路を造り景色の良い所へサービスエリアを作り観光案内所を設置、それから1kmで白馬の出口が良い。
- 1。今では白馬から四国の高知まで車で10時間位、徳島まで6時間30分位、白馬から豊科まで1時間はかかりすぎ、早く高規格道路がほしい。
- 2。国の財政危機ということで、このままいくとインフレになる、さらに30年後のことを考えると交通網はどうなるか、50年後にはガソリンがなくなる。便利になったら環境破壊が進んだ。

8班まとめ

白馬の産業は観光である、私たちも旅行に行く場合も早く着いて、ゆっくり休みたい、白馬へ来られるお客様にも早く着いて、ゆっくり休んでいただきたい、白馬の村内の道路はこれ以上いらない、村内は車はゆっくり走ってほしい、歩く道、サイクリングの道もっとほしい、高規格道路で早く着いて、ゆっくり休んでいただく自然環境を大切にしたい高規格道路を作ってほしい、今回の意見交換会は総論から各論まで意見交換ができて大変良かった。